



コーちゃん・オーちゃんの「見つけた！豊岡元気人」



城崎温泉の夏を盛り上げ

お客さんをもてなす元気人

7月18日から城崎温泉街で始まる「城崎温泉夏物語」。今年の城崎の夏はさらにパワーアップしてお客さんを迎えます。このイベントの代表者を紹介します。

柴田良馬さん(28歳)城崎町湯島

今年はずり毎晩

花火を打ち上げます

「今年の城崎温泉夏物語は今までにない魅力満載のイベントでお客さんを楽しませますよ」と話すのは、今年、この物語の企画・運営に当たる城崎町商工会青年部の特別事業委員会委員長を務める柴田良馬さん。

「城崎温泉夏物語」は、平成6年に夏の城崎を盛り上げようと始まったもので、今では、城崎の夏の風物詩となっています。

今年も、7月18日から8月27日までの41日間、午後8時から9時30分まで、城崎温泉街の四所神社境内の夢広場で開催します。

期間中は、連日、縁日(お面や綿菓子の販売、スーパードールすくい、魚釣りゲームなど)が開催され、週一回、湯けむり太鼓や、柴田さんもメンバーである城崎泉隊オンセンジャーショーも行われます。

そして、今年の目玉は、毎週2回打ち上げていた花火を、毎週月曜日から金曜日までの平日毎晩、午後9時から「夢

花火」として打ち上げることで

「花火を目当てに一人でも多くの観光客に城崎温泉にお越しただきたい」と柴田さんは話します。

海外で学んだ接客

柴田さんは、高校卒業後、実家の旅館業を継ぐためアメリカ・ラスベガスの大学でホテル経営学を専攻、また現地の旅行会社に勤め、多くの観光客と接することで「接客」の重要性を学んだ後、3年前、城崎に帰って来ました。

「地元に戻って来て、あらためて城崎温泉の情緒や風情を感じ、本当に魅力のあるまちだなと感じました。今後はその魅力を全国に伝えていきたいというのが目標です」と柴田さんは話します。

お客さんをもてなし

知名度を上げ

世界の観光地へ

今回の物語のテーマは「すべては、お客様のために」。



▲城崎温泉の若旦那の柴田さん。趣味は、旅行、ご当地食べ歩き、ショッピング、バスケットボール

お客さんの視点に立つて、観光地を盛り上げようとの思いが込められています。

イベントを間近に控え、打合せ会議やオンセンジャーショーの練習は、午前零時を過ぎることもあります。

柴田さんは「今、城崎温泉には多くの若旦那がいる。みんな協力し、さらなるまちの活性化を目指したい。お客さんに来ていただくことが今後のまちの発展につながるのだから、今ある城崎の魅力を磨くとともに誘客の仕掛けを考えていきたい。そして、10年かけてでも知名度を上げ、世界に誇れる観光地にしたい」と話します。

予定の話まった手帳を確認していた柴田さんは、今日もまちのPRのため、全国を飛び回っています。

チャイルドハウス保育園（豊岡）

〈園児137人〉



豊岡卸団地の北側に位置し、商業施設に囲まれた中にあるチャイルドハウス保育園。ここで園児たちは多くのことを学びながら、仲良く伸び伸びと園生活を楽しんでいきます。

6月2日、「歯科指導」と「食事のマナー指導」が行われたので、その様子をのぞいてみました。

虫歯のバイ菌「ミュータンス」！

午前中は、4歳児と5歳児を対象にした「歯科指導」が行われました。

豊岡市保健センターの保健師と3人の歯科衛生士が今日の先生。「朝ご飯を食べてきた人」との問い掛けに園児全員の手が上がりました



が、「歯磨きしてきた人」と尋ねられると手はまばらでした。

歯科衛生士は歯磨きをしないので寝てしまつた子の話を、絵を使いながら説明したり、実物のミュータンスの写真を見せたりして、歯磨きの大切さを伝えました。

小やく小やく動かさじょー！

3つのグループに分かれて歯磨き指導です。トライやる・ウイークで保育の仕事を実験していた中学生も熱心に園児



の歯磨きをチェック！苦手な箇所をきつちりと確認し、指導していました。

食事のマナーも学びます！

午後は、5歳児を対象にした「食事のマナー指導」です。

園の管理栄養士が先生となり、お昼ご飯の様子を話しながら、食べるときのルールを教えます。

必ず守るねー3つの約束

1つ目は、食事中のおしゃべりです。口に入つたまま話してはいけません。

2つ目は、はしやお皿の持ち方。3つ目は、背中を伸ばす座り方を正しくすることを約束しました。

たくさんのことを学んだ、充実した一日でした。



顔輪笑の

古き伝統と新しい音楽との融合 『竹野北前太鼓保存会』（竹野）

「ドンドンドンドン」。竹野浜で開催される「北前まつり」の会場にリズムカルで重厚な太鼓の音が響きます。

かつて竹野地域に寄港した北前船を力強く表現する「竹野北前太鼓」は、10年前に、まちおこしの一環として創設された郷土芸能です。発足当時は、地域住民から寄付を募ったり、耳で聞いたリズムを譜面にしたりするなど、ゼロからのスタートでした。

現在21人のメンバーが竹野地区公民館を拠点に活動しています。



▲北前まつりを彩る竹野北前太鼓演奏の様子。現代的でドラマチックな演奏を目指しています。また、流行の曲を演奏したり、バンドとコラボレーションしたりと、新しいことにも挑戦しています。指導者の八木篤子さん（竹野町竹野）

保存会の依田正宣さん（竹野町下塚）は「住民や企業など、地域の協力があったからこそ今がある。これからも地域のために頑張っていきたい」と話します。

早いテンポで力強く太鼓を打っていきますが、メンバーの大半が女性や小中学生の子

どもたちであることには驚かされます。

大人の男性5人でやっと運ぶことができる大太鼓に、平太鼓や、地元の竹を使用した竹太鼓、ダイナミックな銅鑼を織り交ぜながら、シンセサイザーによる楽曲を融合し、

は、「男女問わず、大人も子どもも、音を楽しみながら交流の輪を広げたい」と話します。太鼓が分からなくても音楽を楽しみたい、仲良く交流したい方は、ぜひ、参加ください。竹野地域以外の方も大歓迎です。

保存会への問合せは、八木さんまで。☎47-11475